

水源地域振興拠点施設実施設計業務委託公募型プロポーザルの結果について（講評）

本事業では、民間運営による施設とすることを前提に、これまでに、基本計画、基本設計を進めてきた。基本計画で定めた「水源地域の振興」、「賑わいの創出」、「交流の促進」という基本方針のもと、運営する事業者が十分に力を発揮できるように整備するために、基本設計においても同種の施設運営の実績のある事業者の意見を取り入れたプランとなっている。

今回、実施設計の事業者を選定する上でも、基本計画、基本設計の考えを踏まえつつ、実施設計を遂行する上で十分な能力のある事業者を選ぶという考えのもと審査した。

応募のあった2者とも、十分な実績を持ち、高い水準の提案であった。

◇ 風景社・高野ランドスケーププランニング設計共同企業体（最優秀者）

特定テーマ②「フレキシブルな施設機能のうちキャンプ場関連の機能を設計する上での考え方について」への提案内容の評価が特に高かった。基本設計の内容を踏まえた上で、これまでの設計業務での工夫を取り入れる提案がみられた点が評価された。また、特定テーマ①「コア施設（温浴機能、飲食機能、物販・体験機能）を設計する上での考え方について」への提案内容においても、基本設計を踏まえつつ、維持管理運営について優れた提案もあり、評価された。

全体として、コア施設とキャンプ場が連続的につながる計画となっており、一体的な賑わいの創出に期待が持てる内容であった。

◇ 株式会社渡辺有規建築企画事務所（優秀者）

特定テーマ①への提案内容の評価が高かった。基本設計には見られない新たな提案もあり、独自性が見られた。一方で、特定テーマ②については、独自の斬新な提案もあったが、基本設計の考え方を踏まえているかという点において、評価が伸びなかった。

全体として、コア施設とキャンプ場の間を分けて考える提案であり、評価が分かれた。

また、プレゼンテーションの説明がわかりやすく、質疑への回答も的確だった点において、委員から高い評価を得た。

本プロポーザルに参加くださった全ての方々に、感謝を申し上げます。

水源地域振興拠点施設実施設計業務委託公募型プロポーザル選定委員会
委員長 福田 義 一